

ふくいオープンイノベーション推進機構が支援する技術開発2件が 経済産業省の支援事業に採択

このたび、ふくいオープンイノベーション推進機構(福井県工業技術センターと(公財)ふくい産業支援センターの共同運営)が支援する研究開発計画2件が、経済産業省の平成29年度「戦略的基盤技術高度化支援事業」に採択されました。

採択を受けた経済産業省の平成29年度「戦略的基盤技術高度化支援事業」は、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく支援の一つとして中小企業者が産学官等の連携で行う研究開発や試作品開発を支援する公募型競争的資金制度です。

1. 採択プロジェクト(事業管理機関:(公財)ふくい産業支援センター)

1	研究開発計画名	参画機関
	転移性骨腫瘍患者向けカスタムメイド人工骨幹製造技術の確立	ヤマウチマテックス・エンジニアリング(株)(福井市)、富山大学、福井大学、県工業技術センター
	開発概要	
	<p>がん治療技術の進歩により患者の生存期間が延長する一方、骨転移に苦しむ患者が増加している。現状の治療法は、骨セメントと金属メッシュおよび髄内釘による固定などが主で、患者の社会復帰を実現する根治治療となっていない。そこで3次元積層造形と切削を合わせた加工技術の高度化により、患者の病状と骨格に完全にマッチするカスタムメイド人工骨幹の製造技術を確立し、がん患者や家族の苦痛軽減と治療後のQOL(Quality of life:生活の質)向上を目指す。</p>	
2	研究開発計画名	参画機関
	特殊側面発光糸を製織できるジャカード織物製造システム、および癒しと安全の機能を提供可能な次世代自動車内装材用織物の研究開発	大喜(株)(坂井市)、県工業技術センター
	開発概要	
	<p>自動運転車などの次世代自動車では、これまで以上の安全性と快適性が必要となる。また、内装材開発においても、そのための新たな機能が求められている。そこで、従来の合織ジャカード織物の持つ優れた風合い、織柄デザイン、耐久性等は維持しながら、特に安全性向上が必要な夜間等には面発光によって各種アラーム等の視認性向上や癒やし効果を提供できる新しい機能を付加した織物内装材を製造する技術を開発する。</p>	

2. 経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」の概要

「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第4条の認定を受けた特定研究開発等計画を基本とした研究開発等の事業が応募の対象となる、経済産業省が公募する補助事業です。

補助事業期間	2年度または3年度
補助率	大学・公設試等の補助対象経費:定額 上記以外の補助対象経費:2/3以内
補助金額(初年度)	4,500万円以下
補助金額(2年度目)	初年度の補助金交付決定額の2/3以内
補助金額(3年度目)	初年度の補助金交付決定額の半額以内

3. 参考情報

平成29年度戦略的基盤技術高度化支援事業」の採択結果については、下記の経済産業省中小企業庁Webサイトで公表されております。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2017/170728SenryakuKoubo1.pdf>